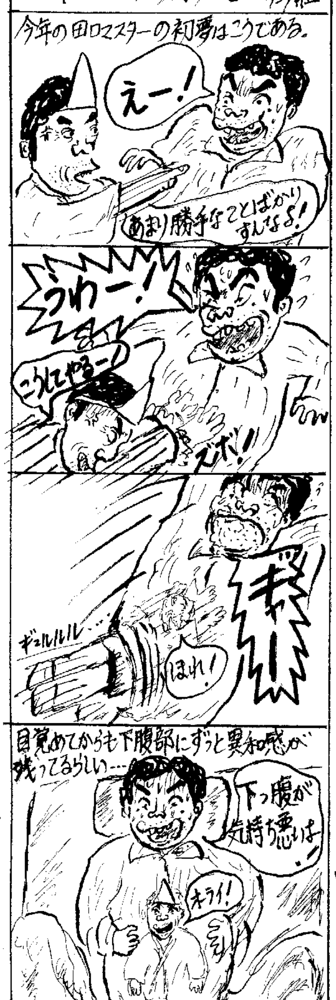
PICKIN' SINGIN' GINZA Rocky Top かわら版 第83号

2004.3.2 発刊

Yeah! マネージャー No42

2004年.田口マスターの初夢の巻 作 チーフ井上



拝啓 May

そろそろ春の足音の3月です。僕はこの頃初めてギターを手にしました。志望校の高校に合格したらギターを買ってやる、と親に言われ、必死に勉強して見事パスしました。おやじは会社の帰りにいいギターを買ってやろうと思ってたのに母が俺に金を渡して先に俺が買ってしまったことを知ったおやじはひねくれてその夜、家に帰ってこなかったことを覚えてます。遠い春…

マスター田口とスタンレー丸山の不幸デラックスコーナー

健康TV番組にまたしてもだまされる!→去る2月に放映されたある健康番組で「**マシュマロを毎日10コずつ2ヵ月食べると身長が4cm伸びる**」というガセネタにまたしても激しく飛びついた。ロッキーに来るなり→「マシュマロ食べると身長伸びるらしいよ!」と**絶叫** そしていつもの自問自答が始まった→「でも俺の場合カロリーが気になるかーっ? でも10個ならギリギリセーフか? インシュリンもOKだし!」

そして翌日松坂屋のマシュマロを6袋ゲット!→「買い占めたぜ 1袋100円だから600円で4cm伸びるぜー」

しかしそんなバカげた幻想に食いついてきた男がいた→「俺も買いましたよ! 伸びちゃいますよ」**スタンレー丸山**だった… 全くバカげた奴らだ、バカだ! とあざ笑うチーフ井上だが、もし2人が伸びてしまったことを考えると、やはり死ぬほど悔しい! 「奴らはマスコミに乗せられているだけだ!」と何度も胸に言い聞かせるチーフ井上だった…

ジャジャーン! ありえないっすよ! 相変わらずチビだなーチーフは! くそー マシュマロかー…

1/16 小柳さん命日の出来事!

今年は1/15(月)からロッキートップの営業が始まったのだが、まあ例年どおり、正月明けということもあり、お客さんの入りはかんばしくなかった。そして1/16、この日は前マスター小柳さんの命日(3回忌)だったのだが、何とも小柳さんの魂の存在を感じずにはいられない夜となった。

(俺の魂はまだ生きてるけん!)

偶然なことにこの日の出演バンドは「町内会」生前小柳さんと、とても親しくしていたVo.樋口さん率いるカントリーバンドだった。樋口さんは特に命日のことなど考えずにこの日にブッキングしたわけだったのだが、不思議なことに、この日は4組ほど、小柳さんと仲が良かったお客さん達が集まった。しかもみなさん本当に久しぶりの御来店だった。友達も連れてきていただき、町内会のお客さんも含め、この日はとてもにぎわった。まるで小柳さんが「俺の命日ぐらい来いよ!」と言って集めてくれたかのようだった。なんだかすぐそこにいるような気がして胸が暖くなってしまいました。そこでお客さん達に「今日小柳さんの命日って知ってますか?」と聞くと皆さん声をそろえて「えー!知らなかったー!こりゃ呼ばれたなー」と言って驚いてました。きっとみんなの心の中には小柳さんが生きていて、しかもあのおっさんの魂はしぶとく、ロッキーのために生きてくれてるような気がした、そんな不思議な暖い夜でした…。

たまにいるスタッフコーナー!

名倉裕美子(ゆみこ)(3?才) →まぎれもなく**チーフ井上の妻**である。嘘じゃないです。チーフがライブなどでロッキーを休む時、**身代わり**役としてロッキーで働いていたりする。まさに**共稼ぎ**である。芝居をやっていて、たまーに舞台に立ちます。チーフ井上同様テクニックではなく感情でぶつかっていく演技で、見る者を引かせたりしている。よく言われるのは「**チーフにはもったいないできた女性だ**」という言葉…どうなんでしょう?

どこへ行くブルーグラス⑪

→わたくしチーフ井上がロッキートップに入ってブルーグラスと出会ってからの思い出をたどりながら、今後ブルーグラスがどこへ行くか考察するコーナーです

ホルモン山崎登場!の巻

→ドブロの小島さんがあまりにも多忙なので、やはりメンバーチェンジしてフィドルなり(音が)伸びる楽器を入れるべきか?と頭を悩ませてた頃、すんごいフィドラーと遭遇した。それは久しぶりに土曜日のロッキーで働いた時のことだった。その日は「**シュガー・オン・トップ**」というバンドで、関西爆発!という感じのMC、芸を連発する最高に面白いバンドだった。あまりのエンターテイメントの素晴らしさに仕事を忘れて引きこまれてしまい、さすが関西!そしてそれだけではなく**初めてブルーグラスで楽しい!**と感じたバンドでした。しかし!しかしだ!その演奏中において、リードボーカルでさえも存在を希薄にさせてしまう動物のような人間がステージ上手にいた。ずんぐりむっくりの熊のように太った体で、狂った浪人生のような髪型、古くさい形のメガネ、その奥には完全にイッてしまってる目ん玉、あまりの男性ホルモンの分泌からか、指には毛がボーボー生え、そのもちもちした手でフィドルをかかえ、これまた狂人のようなステップとダンスで弾きまくっていたのだ!いや弾いてるというより放出している!という感じの動物がいた!

「**なんだあれは…**」絶句!…今までブルーグラスプレイヤーで、その弾き姿に強烈なパッションを感じた人はいなかった。そんな中初めて**スピリット&エネルギー&ホルモン**を感じる動物と出会った。その動物の名を「ホルモン山崎」と言った!ちょうど「Mule Skinner Blues」パンクバージョンを作ってる頃だったのでとりあえずこの曲を弾いてもらいたい!と頼んでみたところ

(おーわかった! 練習はいつだ?)

とすんごい勢いでOKしてくれた。「こりゃ楽しみだ!」と思ってバンジョー越田に話したところ→

(えー!山崎さん? そりゃあかんなー あの人音程0なわけだね)

当時「**ピッチよりパッション**」をとっていた俺だったが、その後越田の言ってる事を嫌でも知らされる時が来るのだがやっぱ音楽はハートだろう!それは今でも信念だ。そしてホルモン山崎という濃いエネルギーが加わったのだった!

Pick Up Live!

3/23(火) Sunset Riders BC ¥1800

正真正銘の**イーグルスコピーバンド**です。**イーグルスしかやりません!** メンバー同志で「グレンフライ!」「ドン・ヘンリー!」と呼び合うほどの意気の入れようだ。もちろんステージ上でもその姿勢を崩さないが、かなり無理がある所がまたご愛きょう! でもマジにうまいバンドですよ。冬だからこそ、ウエストコーストに浸って一時寒さを忘れよう!